学校番号	３０１８

令和８年度　総合造形科

教科	総合造形	科目	平面造形	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	日本・西洋美術の流れ						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

造形の平面分野の基礎を学びます。絵の具や道具の使い方、色彩を生かした表現や画面の構成方法など、平面で自分のアイデアを表現するために必要な知識と技能を身につけてもらいます。
作品の良し悪しだけでなく、宿題やアイデアスケッチなどに積極的に取り組もうとする姿勢も重視します。

2　学習の到達目標

・絵画における描写や表現の技法を幅広く学び、平面造形の基本的な能力を身につける。

【知識及び技能】
使用する絵の具や道具の特性と色彩効果や構成を理解し、創意工夫して表現できる力を身に付ける。
表現方法や色、モチーフ、構図等の造形要素を考え創意工夫しながら意図に応じて表現する。
【思考力、判断力、表現力等】
造形の平面的表現のよさや美しさ、美術の働きを考え、主題を生成し創造的に発想構想を練り、価値意識をもって見方や感じ方を深めている。
【学びに向かう力、人間性等】
造形の平面分野に関する基礎基本を積極的・主体的に身に付け、創造活動に生かすような態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	使用する絵の具や道具の特性と色彩効果や構成を理解し、創意工夫して表現できる力を身に付ける。 表現方法や色、モチーフ、構図等の造形要素を考え創意工夫しながら意図に応じて表現する。	造形の平面的表現のよさや美しさ、美術の働きを考え、主題を生成し創造的に発想構想を練り、価値意識をもって見方や感じ方を深めている。	造形の平面分野に関する基礎基本を積極的・主体的に身に付け、創造活動に生かそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	デザイン	・デザインとは何かを考える ・エスキースを考える ・ケント紙に鉛筆で下絵を描く ・絵具・筆の使い方を工夫して作品を完成させる	a:デザインの特性を理解し、伝達効果を考えて表現する。 b:テーマから目的や機能を考えて発想し、創造的な表現の構想を練る。 c:デザインの基礎を身に付けるために、積極的・主体的に取り組む。	作品	エスキース ワークシート	学習状況の観察 レポート
	版画	・版画の特性を学ぶ ・下絵を完成させる ・転写する ・版を完成させる ・作品の刷り方を学ぶ ・サイン・タイトル・エディションナンバーについて学ぶ	a:版画の特性を理解し、表現方法を創意工夫して表現する。 b:テーマから自由に発想し、魅力的な構図を考え、創意工夫して表現の構想を練る。 c:版表現の基礎を身に付けるために、積極的・主体的に取り組む。	作品	エスキース ワークシート	学習状況の観察 レポート
2	日本画	・モチーフ観察 　色鉛筆によるスケッチ ・転写の方法を学ぶ ・絵具の特性を知る ・彩色方法を学ぶ	a:日本画の特性を理解し、表現方法を創意工夫して表現する。 b:モチーフを見つめ感じ取ったことや考えたことから、表現の主題を生成する。 c:日本画表現の基礎を身に付けるために、積極的・主体的に取り組む。	作品	スケッチ ワークシート	学習状況の観察 レポート
3	洋画	・絵具の特性・道具の使い方を学ぶ ・単色で描く ・色を重ね絵の骨格を決める ・細かい描写をして完成させる	a:油彩の特性を理解し、表現方法を創意工夫して表現する。 b:モチーフを見つめ感じ取ったことや考えたことから、表現の主題を生成する。 c:油彩表現の基礎を身に付けるために、積極的・主体的に取り組む。	作品	ワークシート	学習状況の観察 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度